



# インフルエンザ油断は禁物 しっかり手洗い、咳エチケット

平成 31 年 2 月 13 日  
富山県感染症情報センター

(0766-56-5431 直通)  
(0766-56-8142 細菌部)  
(0766-56-8143 ウイルス部)

## 感染症発生動向速報

(平成 31 年第 6 週分・2 月 4 日～2 月 10 日)

### 《 インフォメーション 》

#### ●インフルエンザ

今週、県内のインフルエンザ報告数が定点医療機関あたり 20.33 人となり、2 週続けて減少しました。警報レベルとなる定点医療機関あたり 30 人を下回りましたが、今後しばらくは報告数の多い状態が続くと思われます(図参照)。

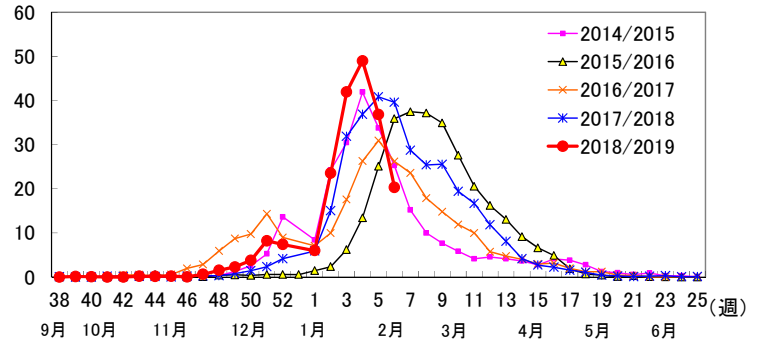
インフルエンザによる学級閉鎖等の措置は 2 月 13 日現在、159 施設(保育所・幼稚園 11、小学校 121、中学校 18、その他 9)が報告されています。

また、全国の集計では、インフルエンザウイルスによる急性脳炎(インフルエンザ脳症)の今シーズンの報告数が 127 例(1 月 27 日までの暫定値)となり、過去 3 シーズンの同期間における報告数(2015/16 シーズン: 57 例、2016/17 シーズン: 54 例、2017/18 シーズン: 108 例)を上回っています。インフルエンザ脳症は、インフルエンザに伴い、意識障害、けいれん、異常行動などをおこす疾患です。主に 5 歳以下の乳幼児が発症し、死亡例や後遺症を残す症例も報告されています。上記のような症状が認められる場合には、ただちに医療機関を受診する必要があります。

次のことに注意して感染予防等に努めてください。

- インフルエンザ対策の基本は「手洗い・咳エチケット」
- 発熱等の症状がある場合は無理をせず、登園や登校、出勤を自粛
- 急な発熱やせき等の症状がある場合は、早めに医療機関を受診
- 抗インフルエンザウイルス薬の服用の有無にかかわらず、異常行動に注意(治療開始後少なくとも 2 日間は小児・未成年者を一人にしない)

(人/定点) 5シーズンの患者報告数の推移(富山県)



### 《 全数報告の感染症 》

二類感染症 結核 7 件 (①第 5 週診断分: 90 歳代、女性 ②50 歳代、女性  
③60 歳代、女性 ④70 歳代、女性 ⑤80 歳代、男性  
⑥80 歳代、女性 ⑦90 歳代、男性)

四類感染症 E 型肝炎 1 件 (第 5 週診断分: 80 歳代、男性)

### 《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患

順位	疾病名	定点あたりの数	
		今週 (増減)	先週
1 位	インフルエンザ	20.33 (↓)	36.83
2 位	感染性胃腸炎	6.55 (↓)	8.00
3 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.10 (↑)	1.52
4 位	咽頭結膜熱	0.97 (↑)	0.69
5 位	伝染性紅斑	0.93 (↑)	0.69
6 位	突発性発しん	0.41 (↓)	0.52

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます  
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（平成31年第6週 平成31年2月4日～平成31年2月10日）

分類	疾患	今週報告分（第6週）						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核	1	1	2	2		6	2	1	7	5	6	21
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症								1				1
四類感染症	E型肝炎							1					1
	A型肝炎							1					1
	レジオネラ症											3	3
五類感染症	アメーバ赤痢											1	1
	急性脳炎											1	1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	1		2
	侵襲性肺炎球菌感染症									2	2	1	5
	梅毒									1		2	3
	播種性クリプトコックス症											1	1
	百日咳											1	1
	風しん								1			2	3
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ	137	87	240	137	375	976	1,084	752	2,549	1,328	2,812	8,525
		19.57	17.40	18.46	19.57	23.44	20.33						
	RSウイルス感染症	1	1	1		3	6	5	15	24	3	21	68
		0.25	0.33	0.13		0.30	0.21						
	咽頭結膜熱	3	1	13	4	7	28	22	1	42	16	24	105
		0.75	0.33	1.63	1.00	0.70	0.97						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	2	18	10	24	61	24	26	62	36	109	257
		1.75	0.67	2.25	2.50	2.40	2.10						
	感染性胃腸炎	48	23	34	3	82	190	231	147	202	88	509	1,177
		12.00	7.67	4.25	0.75	8.20	6.55						
	水痘			5		4	9	1	4	10	7	48	70
				0.63		0.40	0.31						
	手足口病	3	2			2	7	7	2	8	2	36	55
		0.75	0.67			0.20	0.24						
	伝染性紅斑	1	1	9	11	5	27	3	2	37	40	22	104
		0.25	0.33	1.13	2.75	0.50	0.93						
	突発性発しん	1		4	3	4	12	5	5	16	9	21	56
	0.25		0.50	0.75	0.40	0.41							
ヘルパンギーナ	2					2	12					12	
	0.50					0.07							
流行性耳下腺炎										1	2	3	
流行性角結膜炎							1	4	6	2	2	15	
細菌性髄膜炎					1	1					1	1	
					1.00	0.20							
マイコプラズマ肺炎								1	1			2	
インフルエンザによる入院患者(*)		5		2	8	13	28	31	20	42	66	70	229

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

\*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成30年第36週(9月3日)～の集計です。

## インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

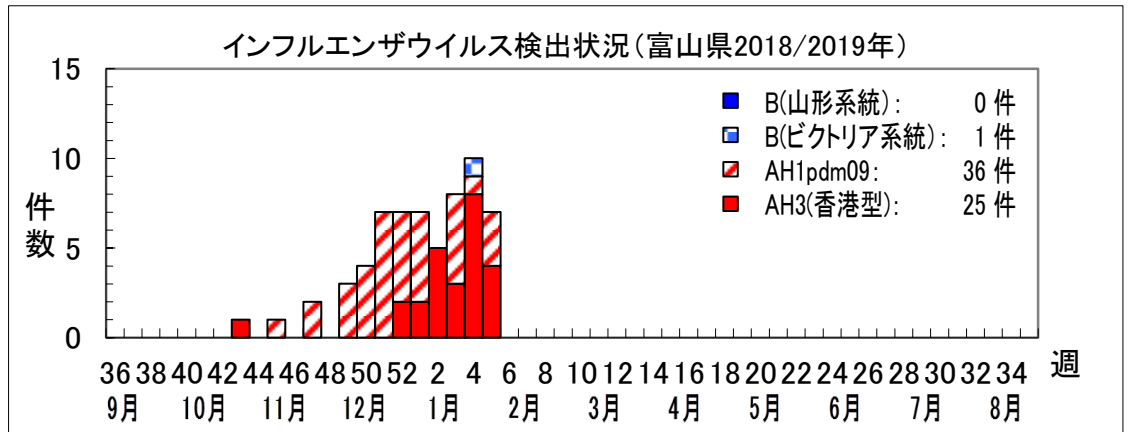
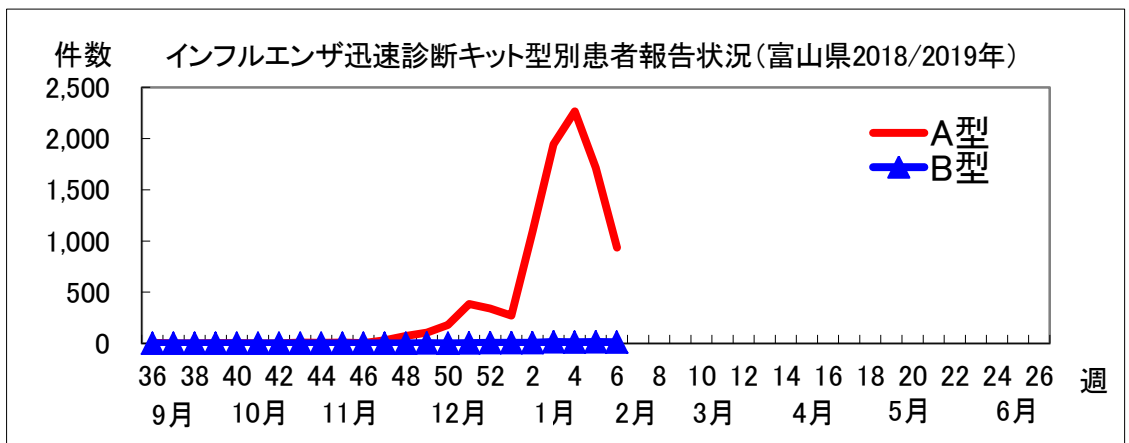
現在、下の表によると、A型が95.9%となっています。

### 第6週(2/4~2/10)：富山県 20.33人/定点

(単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 <sup>※2</sup>	合計
		A型	B型		
新川	7 / 7	128	1	8	137
中部	5 / 5	82	3	2	87
高岡	13 / 13	228	2	10	240
砺波	7 / 7	135	0	2	137
富山市	15 / 16	363	6	6	375
富山県	47 / 48 <sup>※1</sup>	936	12	28	976
富山県累計(2018年36週~)		9,380	73	261	9,714

※1 48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が47か所あったことを示します。  
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。





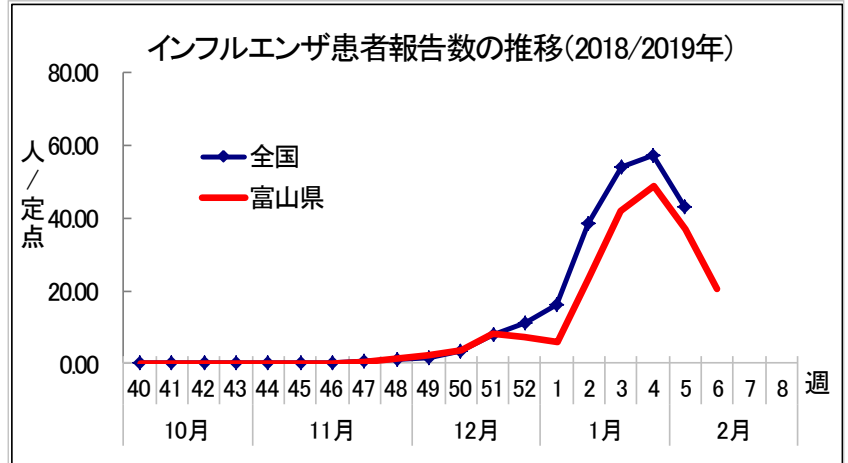
● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第6週 (2/4~2/10) : 富山県 20.33 人/定点

新川 HC (19.57)、中部 HC (17.40)、高岡 HC (18.46)、砺波 HC (19.57)、富山市 HC (23.44)

県内は、警報レベルでとなる定点医療機関あたり 30 人を下回りました。

2 週続けて減少していますが、今後、しばらくは報告数が多い状態が続くと予想されます。

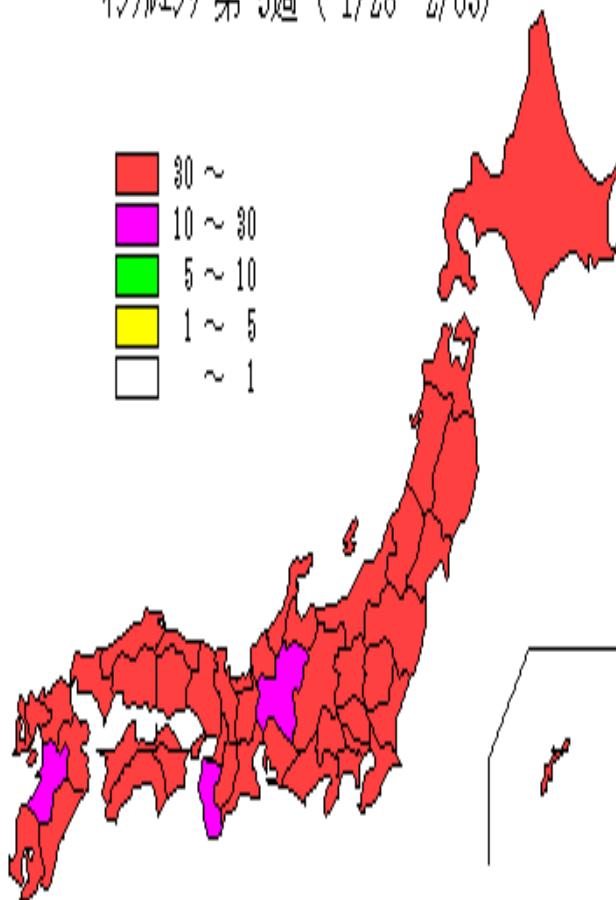


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第5週 (1/28~2/3)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 43.24 人となり、前週の 57.18 人より減少しました。

47 都道府県すべてで前週より減少しています。

インフルエンザ第5週 (1/28- 2/03)



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	35.98	滋賀県	36.42
青森県	31.40	京都府	37.73
岩手県	39.65	大阪府	34.63
宮城県	58.77	兵庫県	35.58
秋田県	36.57	奈良県	35.40
山形県	42.61	和歌山県	26.67
福島県	51.39	鳥取県	37.34
茨城県	47.81	島根県	31.47
栃木県	51.30	岡山県	37.32
群馬県	44.73	広島県	35.25
埼玉県	65.68	山口県	39.13
千葉県	56.89	徳島県	39.84
東京都	45.67	香川県	37.21
神奈川県	51.62	愛媛県	30.34
新潟県	62.51	高知県	37.60
富山県	36.83	福岡県	42.80
石川県	51.73	佐賀県	33.18
福井県	39.63	長崎県	39.17
山梨県	48.22	熊本県	29.65
長野県	45.57	大分県	52.14
岐阜県	27.56	宮崎県	47.59
静岡県	38.32	鹿児島県	39.49
愛知県	38.23	沖縄県	47.14
三重県	31.65	全国	43.24

○感染症発生動向調査報告状況（平成31年1月分）

		1月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症	1		1		14	16	1		1		14	16
		1.00		0.33		3.50	1.60						
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	性器ヘルペスウイルス感染症			1		3	4			1		3	4
				0.33		0.75	0.40						
	尖圭コンジローマ			3		3	6			3		3	6
				1.00		0.75	0.60						
	淋菌感染症					4	4					4	4
						1.00	0.40						
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		1	2	5		9	17	1	2	5		9	17
		1.00	2.00	5.00		9.00	3.40						
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症				2	2	1	5			2	2	1	5
				2.00	2.00	1.00	1.00						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。